

近代京都画壇の開拓者

# 幸野 棗 嶺

## KONOBAREI

A pioneering figure of modern Kyoto art

2020.10.31 SAT — 12.27 SUN

開館時間=10:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日=月曜日(ただし、11月23日<月・祝>は開館)、11月11日(水)、24日(火)

入館料=一般1,000円 高大生500円 中学生以下無料

※障がい者手帳などをお持ちの方は半額。介添えの方は1名無料。

※20名以上の団体は各200円引き。

[タクシー来館特典]

タクシーで来館の方、タクシー1台につき1名入館無料。

※当館のご入場の際に当日のタクシー領収書を受付にご提示ください。

主催=海の見える杜美術館

後援=広島県教育委員会、廿日市市教育委員会

幸野棗嶺《馬猿図》1877年(明治10)

海の見える杜美術館  
learn from nature and pursue art & culture



1



2



3

近代京都画壇の開拓者

# 幸野 棗 嶺

KONOBAREI

A pioneering figure of modern Kyoto art

幸野棗嶺(1844~1895)は、幕末から明治という時代の変革期を生き、数々の優れた作品を残すと同時に、京都府画学校という日本初の近代的な美術の教育機関の設立に関わるなど、京都画壇の近代化に先鞭をつけた画家です。

棗嶺は、京都に生まれ、円山派の画家中島来章(1796~1871)、次いで四条派の塩川文麟(1808~1877)に師事しました。彼の作品には、京の地に続いてきた円山四条派を受け継ぐ、写生に基づきつつも情感の漂う穏やかな花鳥画が多く見られます。また、特筆すべきは、画学校や画塾・幸野私塾などの場で後進の教育に熱心にあたったことです。自身が継承・開拓した画風を後の大家竹内栖鳳(1864~1942)や菊池芳文(1862~1918)らに伝え、彼らの表現の基底を築いた点においても、京都画壇史上欠くべからざる存在であることは確かでしょう。

このたびの企画では、棗嶺の作品を中心に、彼の師である来章や弟子の栖鳳、盟友とも言える存在であった久保田米僊(1852~1906)らの作品、そして幸野私塾で使われていた粉本、画譜などから、多角的に棗嶺の画業とその時代をご紹介します。

## 【イベント情報】

### ミニスライドレクチャー

今回出品する棗嶺作品を中心に、当館学芸員がスライドを用いて解説いたします。

[日時] 11月14日(土)、12月12日(土)、13:30~(45分程度)

[会場] 海の見える杜美術館 [参加人数] 5名程度

[参加費] 無料(ただし、入館料が必要です。) [事前申し込み] 不要

## 【同時開催】

### 竹内栖鳳展示室

今回は、「幸野棗嶺—近代京都画壇の開拓者—」展の一部となります。本展では、棗嶺の弟子の竹内栖鳳をはじめとする近代京都画壇の画家たちの作品もご覧いただけます。

### 香水瓶展示室

海の見える杜美術館が、長年にわたり収集および調査してまいりました香水瓶コレクションより、厳選した香水瓶をいつでもご覧いただけます。

《香水瓶》ヴェネツィア、1690年頃



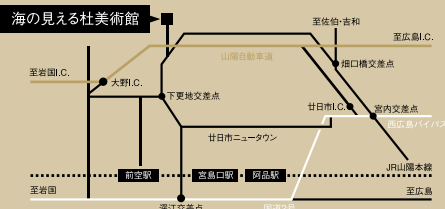
1 幸野棗嶺《雪松晚鴨図》1895年(明治28)

2 久保田米僊《観菊図》明治時代

3 幸野棗嶺《舞妓鳥籠図》1876年(明治9)

## ご来館の皆さまへ

当館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を行っております。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。臨時休館や、イベントを中止・変更する場合がございます。詳しくは、当館ホームページをご覧ください。



## ■アクセス情報

山陽本線「宮島口駅」または  
広島電鉄「広島宮島口駅」から  
タクシーで約10分  
山陽自動車道「大野I.C.」から  
車で約10分

海の見える杜美術館  
learn from nature and pursue art & culture

〒739-0481 広島県廿日市市大野亀ヶ岡10701  
Tel:0829-56-3221 E-mail:info@umam.jp http://www.umam.jp